

# 令和6年度 和歌山商工会議所 事業計画・収支予算 新時代に対応した自己変革に挑む事業者をサポート!!

## ■基本的な考え方

### 【昨今の経済情勢】

- ◆コロナ禍からの社会経済活動の正常化により**中小企業の売上はコロナ禍前まで回復**
- ◆国内設備投資は100兆円規模、最低賃金は全国平均4.5%上昇。いずれも**30年ぶりの過去最高水準**
- ◆原材料・エネルギーコスト増や円安を背景とする**物価上昇が収益を圧迫**
- ◆原材料価格上昇分の転嫁が進みつつある一方、**労務費やエネルギー価格の転嫁は難航**
- ◆深刻な人手不足の中、**人材の確保・維持のため防衛的賃上げ**

### 【課題克服のため取り組むべきこと】

- ◆賃上げや投資の原資確保に向けた生産性向上、取引適正化
- ◆自己変革による稼ぐ力の向上と持続的な成長力の強化
- ◆人手不足に打ち勝つ経済の好循環

### 【基本姿勢:変革と創造のサポート】

#### ●人手不足への対応と生産性向上

- ・構造的な賃上げを実現するため、原資確保に向けた取引価格の適正化に向けた取組
- ・多様な働き方や人材活躍推進による労働力確保に向けた支援を実施
- ・DXや省力化、事業再構築などによる生産性向上や業務効率化への取組を伴走支援

#### ●販路開拓支援

- ・当地域ならではのポテンシャルの高い商品やコロナ禍で新たに生み出されたサービス等について新たな需要開拓や販路開拓の支援を強化

#### ●地域活性化

- ・「大阪・関西万博」の来場者増加と会期中の和歌山への誘客・周遊を促進する取組
- ・「ローカルファースト」の視点を踏まえた持続可能なまちづくりへの取組

#### ●2050年カーボンニュートラル

- ・必要性や意義・メリットの理解、具体的な削減への取組が行われるようセミナー開催や支援情報の提供により後押し

#### ●商工会議所庁舎の建て替えに向けた調査・検討

- ・「新庁舎整備検討委員会」の立ち上げによる調査・検討

以上を踏まえ、令和6年度は以下4つの重点事項を軸に事業を展開します。

## ■重点事項

### 1. 新時代に対応した自己変革に挑む中小企業・小規模事業者への成長支援

#### (1) 自己変革・生産性向上・取引価格の適正化に向けた支援

- ◆【**拡充**】事業再構築や省力化に資する各種補助金の活用支援
- ◆【**新規**】デジタル人材の育成並びにDX戦略支援（「DX経営塾」の開催）
- ◆【**新規**】「経営発達支援計画」認定更新に向けた計画策定
- ◆パートナーシップ構築宣言の普及促進及び実効性向上、並びに取引価格適正化の促進
- ◆カーボンニュートラルへの理解促進・取組支援と環境アクションプランの実行

#### (2) 新たな需要開拓、販路拡大に向けたビジネスマッチング支援

- ◆【**新規**】大型商業施設との商談会によるビジネスマッチング支援
- ◆東京・大阪での展示会・商談会への出展支援
- ◆ザ・ビジネスモールによる取引拡大、プレスリリース配信によるマスメディアへのアプローチ支援
- ◆和歌山県立医科大学薬学部との連携によるビジネスマッチング支援

#### (3) 人手不足への対応と労働力確保、事業環境の整備のための支援

- ◆【**新規**】和歌山大学との戦略的パートナーシップ締結による人材育成、活用支援
- ◆【**拡充**】地元企業の技術や社風を体感する「高校生企業見学バスツアー」の実施
- ◆和歌山県事業承継・引継ぎ支援センターとの連携による支援
- ◆感染症特別貸付（ゼロゼロ融資など）の返済等にかかる金融相談会の開催
- ◆和歌山県中小企業活性化協議会による収益力改善、経営改善、事業再生、再チャレンジ支援
- ◆災害時など不測の事態に備えたBCP（事業継続計画）策定支援

#### (4) 経営の下支えとなる産業人材の育成への支援

- ◆各種講習・講演会、商工会議所検定の実施など

#### (5) 中小企業・小規模事業者の支援に向けた各種展開

- ◆小規模企業振興委員の活動体制の強化
- ◆わかやま産業振興財団・よろず支援拠点、和歌山県中小企業診断協会など関係機関との連携

### 2. 地方創生を再起動するための観光振興・地域活力の強化

#### (1) 地方創生を再起動するための観光振興・地域活力の強化

- ◆【拡充】「大阪・関西万博」の成功に向けた入場チケット購入斡旋とオール和歌山での誘客・周遊促進に向けた取組
- ◆仕出し弁当受注連携協議会が考案した「御三家紀州弁当」のリニューアル
- ◆「ふるさと愛運動」の推進と青年部による「ローカルファースト」への取組を後押し
- ◆第76回わかやま商工まつり(令和6年10月12日～13日)の開催

### 3. 適時・適切な意見要望活動

#### (1) 強固で活力ある地域社会構築のための意見要望活動・各種調査

- ◆地域の中小企業・小規模事業者の代弁者として民間の力を結集した県・市への意見要望活動
- ◆税制改正(中小企業関連税制)や金融対策に向けた国への意見要望活動
- ◆「景気動向調査」による景況感や先行き見通し、経営課題などの把握

### 4. 組織の強化と財政基盤の確立

#### (1) 組織の強化と財政基盤の確立

- ◆【拡充】県外移動常議員会の開催
- ◆【拡充】商工会議所庁舎の建て替えに向けた調査・検討
- ◆部会・委員会の積極的展開と女性会・青年部の活動強化
- ◆会員増強運動の実施と共済・福祉制度、商工会議所会員向け損害保険の加入促進

#### (2) 会員サービス事業の充実

- ◆特別巡回による会員ニーズの把握と顔の見える関係づくり構築による3,700会員との“つながり強化”
- ◆わかやま月報、ホームページ、会議所利用ガイド「上手な活用術」、メール配信、Instagramを活用した会議所事業の“見える化”促進
- ◆支社・支店・営業所長との交流会「わかやま支友会」、新春経済講演会の開催ほか

### 令和6年度 収支予算総括表

(自:令和6年4月1日 至:令和7年3月31日)

(単位:千円)

会計別	本年度予算額(A)	前年度予算額(B)	増減(A)-(B)
一 般	586,400	575,000	11,400
中小企業相談所	212,900	212,100	800
管 理	81,000	77,000	4,000
特定退職金共済事業	365,800	382,400	△16,600
退職給与積立金	235,940	229,000	6,940
内部取引相殺	△66,700	△60,900	△5,800
合 計(注)	1,415,340	1,414,600	740

(注)内部取引は、各会計間の繰入金・繰出金

【予算のポイント】

- ◎実質的な事業予算は、一般・中小・管理の3会計8億8,030万円
- ◎特定退職金共済事業及び退職給与積立金は退職金の支払予算
- ◎一般会計においては、経済産業省の委託事業費が増加となり微増
- ◎特定退職金共済事業は、退職者数により変動があり、過去3年間の平均値により予算計上
- ※商工会議所庁舎建替えのための緊急・事業準備積立金4,200万円(累計17億1,600万円)

※令和6年度 事業計画・収支予算の詳細はこちら →

